

一言コラム

セルフ・エフィカシー

「子どもを褒めて育てる。」という子育てが主流になっている。基本的にはこの時代の流れに賛成だ。ただ、褒め方にも正しいと正しくないがあるらしい。

一つのことが確実にできたという経験が積み重なると「次もうまくやれる。」という確信（エフィカシー）が持てるようになるのだとか。そのエフィカシーがほかの行動への自信にもつながり、全般的な自己効力感（セルフ・エフィカシー）が向上していく。

褒める場合は、確実に「これ」ができたという経験が重要になるが、何を褒められているのかわからないような褒め方は、時に子どものプライドや根拠のない自信を増大させてしまうのです。

何を褒められているのか、子どもがわかるような具体性が重要となるのです。

できることが増えた我が子と喜びを共有しつつ、それを上手に伝えられる語彙力を増やしたいと思う年明けであった。

×「いいよ、その調子!!」⇒○「二重跳びが10回もできてすごいね。」

×「そう、よくできた!!」

⇒○「(書き初めの字の) はらいが上手にできるようになったね!」